



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年4月21日

NO. 4

校長 白水 聡

学力調査

4月17日（木）は全国学力学習状況調査（6年）、長崎県学力調査（5年）、長崎市学力調査（3～4年）が行われました。この時期のテストですから、前の学年の学習内容の力を測るものです。昨年度算数の少人数指導をされていた谷〇子先生は「どうかな？みんなできているかな？」と気にしていて、結果を楽しみにしておられる様子でした。

実施の状況を見て、感想や気づきを担任の先生方に尋ねてみると次のような声がありました。

- ・算数は比較的良好にできているように感じました。ただ、答えの出し方を説明しなければならない問題は難しかったようで、空欄も目立ちました。
- ・やはり、一問一答のような知識を問われる問題は少なくなってきていて、思考、判断、表現力が問われる問題が多かったです。
- ・「自分の考えを書く力」を伸ばさないといけないと思います。
- ・国語は文字数を指定されて書く条件作文が難しそうでした。算数は言葉と数字を使って答えるような問題が多かったです。
- ・問題数はそれほど多くないと感じました。
- ・複数の資料を読んだり、比べたりしながら解く問題が多いです。

この調査問題は今の日本の子供たちに必要な学力の定着ぶりを見るものです。知っていることを活用したり応用したりして、新たな問題を解決することができる力を重視しているようにも思います。それは、予測困難な未来社会を生き抜く力とも言えるかも知れません。

まずは、文章を読む力や考えを書く力が大切なことは間違いありませんので、そこは伸ばしてまいりましょう。音読や読書習慣、自分の思いや考えを綴るといったことです。新聞記事やニュースを題材に考えるといったことも有効に働くと思います。

学校では「授業改善」、ご家庭では「家庭学習の習慣化」を軸にしながら、矢上の子供たちの学力を、学校と家庭の両輪が力を合わせて、もっと伸ばしていきましょう！

調査結果が届いたら改めて、よさと課題、改善に向けた取り組みなどをお伝えいたします。

テトルの活用について

保護者の皆様のテトルの登録状況はほぼ100%になりました。ご理解とご協力に感謝いたしますが、そのうえで、運用上の留意事項をお知らせいたしますので、ぜひ共通理解をどうぞよろしくお願いいたします。

- ①欠席連絡の場合、詳細がわかるように「備考」の欄に具体的な記述をお願いします。また、始業5分前の8時10分までに連絡配信をお願いします。
- ②さまざまな発信があり、中学校からも来るので煩雑だとは思いますが、開封率がなかなか100%になりません。お忙しいとは思いますが、ぜひ開封して記事を確認いただければありがたいです。なお、風水害、不審者情報などの緊急の連絡もあります。お迎えに来ていただき「引き渡し下校」をする場合もありますので、ぜひよろしくお願いいたします。